

# 大王製紙㈱「働き方改革」宣言

平成 28 年 10 月  
大王製紙株式会社

大王製紙㈱では、多様な人材ひとり一人が能力を磨き、発揮し、企業の価値向上に繋げるダイバーシティ経営を推進することを目的として、平成 27 年 11 月より「働き方改革」を進めています。

働き方改革は、①所定時間内で成果を出す生産性の高い働き方を基本とする（残業が当たり前の働き方からの転換）②時差出勤、年次休取得等を活用した、総労働時間の削減 ③自己成長のための時間創出 を基本方針として進めています。

平成 28 年 7 月に、経済4団体・各種業界団体が推進する「経営トップによる働き方改革宣言」へ日本製紙連合会が賛同したことを受け、大王製紙としての「働き方改革」に対する考え方および取組み内容を公表いたします。

## ◆「働き方改革」を通じて創り出すもの

- ①定時に帰宅すること(社員)が当たり前の風土をつくる。
- ②定時退社・年次休取得を通じて、生産性の高い仕事の進め方を創り出す。
- ③社外で過ごす時間を増やすことで、「健康増進」「自己成長のための能力開発」「新しい発想」につなげる。

## ◆主な取組み内容

- ・週 2 回「ノー残業デー」の周知・徹底。
- ・19 時までには退社し、朝型勤務を推奨。
- ・変形労働制や時差出勤などの制度の再周知と活用促進。
- ・功績表彰の項目に「働き方改革の取り組み」を追加。
- ・夏季休暇以外に年間 5 日間以上の計画年次休取得の推進。
- ・管理職を含めた、時間外労働時間およびノー残業デーの実施率の社内公開。
- ・公募制の語学教室、通信教育の受講費用補助、MBA 取得費用支援 等。
- ・健康増進を目的に「スポーツクラブ」法人契約による利用支援を実施。

以上

## 【働き方改革トップメッセージ】

### ◆定時内で仕事をやり切る風土に変える◆

大王製紙は第2次中期事業計画において、売上高5,000億円、経常利益250億円を目指しています。それはあくまで通過点であり、10年後、20年後、更に未来永劫にわたり成長を遂げていくためには、海外事業の拡大、新規事業への参入、縮小する国内市場での構造改革を通じて、新たな価値を創造し提供し続けることが不可欠となります。

その新たな価値を創造する源泉は人財です。性別や国籍に拘わらず、多様な能力を持った人財が、創造性を発揮し、自ら考え決断し、実行することで経営理念に掲げる「世界中の人々へやさしい未来をつむぐ」企業として存続することができるのです。

そのためには、仕事だけの人生になってはいけません。新たな価値を創造するためには、自分のために、家族のために、地域のために時間を費やし、その中で自らの新たな可能性を見出し、それを伸ばし広げる必要があります。だから働き方改革が必要なのです。

定時の中で効率的に最大限の能力を発揮して成果を出し、一方で余暇の時間を大切にし、趣味に没頭するのもよし、読書を通じて知識や思考力を高めるのもよし、友人や同僚、社外の知人と交流し見聞を広める、運動をして体力をつける、家族とよく会話する、ともに外出する等、何かに向き合って知識や経験を増すことで、そこから自分にとっての新たな価値を見出すことに気づくはずです。

そして、その価値を高めて欲しいと思います。

会社は、生産性が高まり仕事がしやすい環境作りを進めていきます。社員の皆さんは、様々な経験を通して自分の可能性を広げることに目を向けてください。それぞれは一見関連性が無いようにも見えますが、密接な関係を持っていると思います。日々の生活の中で得た知識や経験が、ビジネスシーンでの対話に深みと幅を持たせ、また、生産現場でのコストダウンのヒントにもつながるのです。そのような人財が多くいることが、つまるところ会社としての価値につながります。

知識習得や経験を積んで自己成長をしたいという社員の皆さんには様々な教育支援も行なっています。上述の通り、限られた時間内で成果を出し、生活の中で知識、経験を育む、この働き方改革を実現するために、共に取り組んでいきましょう。

平成28年10月  
大王製紙株式会社  
代表取締役社長

佐光正義